

停車時にホーム内であるかを判定し、
ドア開の「許可」・「不許可」を指令する乗務員支援システムです。
車両側のみへの設置で地上設備が不要。導入コストの低減を実現します。

センサ検知システム



超音波センサ

センサユニット

編成間制御システム



制御ユニット

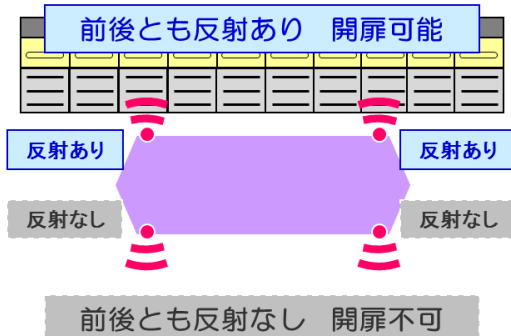
報知ボックス

- 編成両端の超音波センサを用いてホーム検知を行い、編成がホーム内であるかを判定します。
- 超音波センサは汚れに強く、経年による検知範囲の誤差が少なくメンテナンスコストの低減が出来ます。
- 超音波センサ部のみでの提供も可能ですので、さまざまな形態のアプリケーションに対応が出来ます。

〈 概 要 〉

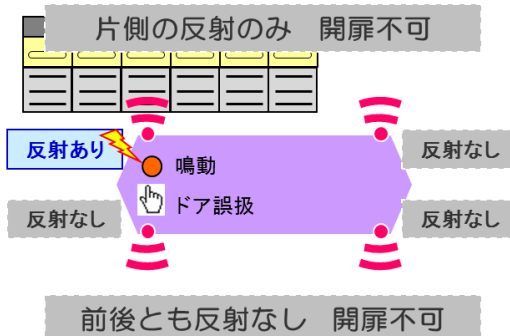
ホーム検知機能について

【ホームと反対側】開扉不可



ホームからの反射波を検知し、ホーム検知側の扉のみ
「開扉」動作が可能となります。
反射がないホーム反対側は「開扉」動作は不可となります。

【ホーム外れ】開扉不可



片運転台側しかホームからの反射がない場合は、ホーム
から外れて停車していると判断し、ホーム側であっても
「開扉」動作は不可となります。

〈 納入実績 〉

西日本旅客鉄道株式会社殿
●105系 ●227系 ●キハ40・47
●113系 ●323系 ●キハ120
●213系 ●521系
●225系

山陽電気鉄道株式会社殿
●6000系

西武鉄道株式会社殿
●101系 ●4000系

京王電鉄株式会社殿
●1000系
●5000系
●8000系

名古屋鉄道株式会社殿
●3500系 ●9100系

阪神電鉄株式会社殿
●1000系

株式会社 JR西日本テクノス

営業部

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎三丁目19番3号 ピアスタワー10F
TEL:06-7223-8762 FAX:06-7223-8766